

労働条件は安全
を支える基盤

航空連ニュース

航空労組連絡会
大田区羽田 5-11-4 フェニックスビル
Tel 03-3742-3251
Fax 03-5737-7819
No.1049(38-7) 2024年3月13日

ベア JAL12,000円、ANA11,000円 要求の更なる前進に向け交渉継続

24春闘の賃上げ状況は、3月9日にJALとグループ各社が回答、11日にANAとグループ各社で回答が出されました。いずれも昨年実績を上回る回答が出され、ANAとJTAでは、客室乗務員の初任給を引き上げています。さらなる賃金引上げ、またJAL・JGSでは期末一時金をめぐる交渉を継続しており、15日の航空の山場に向けギリギリの交渉が続いています。

各社の賃上げは右表のとおりです。回答水準は昨年実績を上回り、成田空港でグランドハンドリングを行うJASCOでは、2万円の賃上げ回答が出されました。

各社の賃上げ回答	
JAL	ベア12,000円
JTA	ベア12,000円
JAC	ベア12,000円
HAC	ベア12,000円
ANA	ベア11,000円
ANAウイングス	ベア10,000円
JGS	ベア12,000円 時給153円増
JGS大阪	ベア12,000円 時給107円増
JASCO	ベア20,000円
JALスカイ金沢	ベア12,000円～15,000円、時給80円増
キャセイ航空	2.8%アップ(年俸制)
ユナイテッド航空	11,400円+3,800円

手当の引き上げ新設も

今春闘では、手当の引き上げ、新設の回答も出されています。JALでは、国内出張時のパーディウムが4,000円から4,600円に引き上げ、同様の回答はグループ各社でも出されています。新たに非破壊検査従事者手当が新設(1万円)されました。また、シニアの働き方や報酬の見直しについて24年度中に行うとしています。HACでは、食事手当が増額され、6ランディングの回数が夏スケジュールから見直されます。ANAウイングスでは、運航乗務員の査察手当やレグ手当、教官手当が増額されました。55歳基本給20%カットの撤廃が争点の一つでしたJASCOでは、カット年齢を57歳に見直しました。

JAL職場、期末一時金格差に不満高まる

ANAでは、第3四半期決算時に23年度業績予想を上方修正したこと受け、期末一時金3カ月を労組に提示しました。これによりANAの23年度一時金は合計7カ月になります。JALでは、すでに第2四半期決算時に通期予想を上方修正しており、JALグループの職場では期末一時金に対する期待が高まっていました。しかし回答がなかったことから、期末一時金格差に職場からは不満が高まっています。

以上